

活力があり，県民が日本一幸せな県を目指して
令和元年6月
茨城県知事 大井川和彦

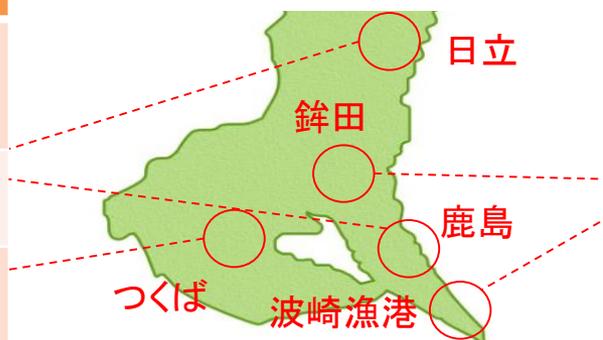


1. 茨城県の現状と課題

- 茨城県はこれまで、恵まれたインフラと広大な用地，科学技術の集積等のもと，農林水産業，商工業における一大供給地や産業集積地として発展。
- 近年，少子高齢化や首都圏への急激な人口流出，グローバル企業による事業再編等の影響により，既存の産業構造は揺らぎつつある。

商工業関係
工場立地面積： 1,139ha（全国1位） ※H21-30累計
製造品出荷額等： 12兆2,526億円（全国7位）
つくばの研究者／国研等の数： 20,758人／29機関

茨城県の強みと産地等の例



農林水産業関係
耕地面積割合： 27.2%（全国1位）
農業産出額： 4,967億円（全国3位）
海面漁業漁獲量： 295,345トﾝ（全国3位）

茨城県の人口見通し

大きな環境変化への対応が急務

今後の経営方針
(県内企業調査)

2015年
人口：292万人
高齢化率：26.6%



2018年度転出超過数（7,744人 全国ワースト） 県北地域は特に危機的

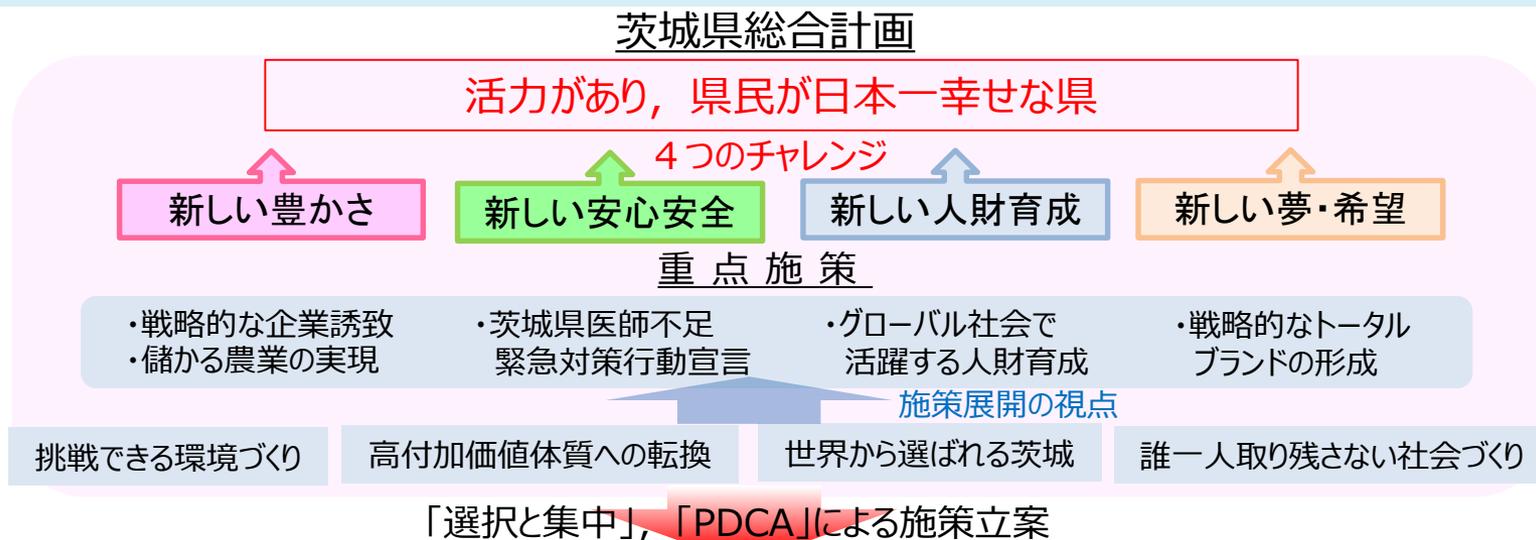
企業にはチャレンジを期待

社会経済のグローバル化，AIの実用化等も考慮

ビジネスモデルの再構築（ブランド化・海外展開），成長産業への先行的な支援・育成を積極的に実施

2. 「活力があり，県民が日本一幸せな県」に向けた取組

- 昨年末，茨城県のグランドデザイン（2050年頃）と4つのチャレンジ，これからの10年を見据えた重点施策等を示した「茨城県総合計画」を公表。
- 「選択と集中」，「PDCA」の徹底により，高度な施策目標の設定，意欲ある事業者への集中的な支援，挑戦する県庁への変革等を推進。



施策の展開例

- ◆ 海外向けトップセールス
- ◆ トップレベルの英語・プログラミング学習機会の提供
- ◆ いばらき国体，東京五輪・パラの成功
- ◆ 県立中高一貫校の開設
- ◆ 全県的なサイクルツーリズムの推進
- ◆ 「最大50億円」の本社機能移転補助
- ◆ 県内動物園へのパンダ誘致
- ◆ 研究開発・海外販路開拓への補助の集中
- ◆ 「外国人材支援センター」の新設
- ◆ 県庁内電子決裁率100%・RPAの推進



G20貿易・デジタル経済大臣会合(つくば)

3. 新たな成長産業へのチャレンジ

- 宇宙ビジネスやeスポーツなど、ビジネスフロンティアへの参入を積極的に推進し、茨城県の将来を支える産業を育成。

いばらき宇宙ビジネス創造拠点プロジェクト

機運醸成

- ◆ 宇宙ベンチャーの創出・誘致，参入促進に向けた場の提供

体制構築

- ◆ 宇宙ビジネスに係るワンストップ相談窓口の設置
(いばらき宇宙ビジネス創造プラットフォーム)
- ◆ 衛星開発に不可欠な試験設備の導入・拡充

財政支援

- ◆ 企業のチャレンジを後押しする補助制度の充実
(試験設備利用，販路開拓，衛星データ利用ソフト開発)



プロジェクト発足(H30.8.27,
内閣府，経産省，JAXA)

宇宙ベンチャーによる県内拠点新設など新たな動き

茨城県をeスポーツのメッカに

- ◆ 全国初，都道府県対抗eスポーツ大会の開催
(本年10月茨城国体)
- ◆ 全国初，eスポーツ×プロジェクションマッピング
(水戸駅前ビルに投影・巨大パブリックビューイング)
- ◆ eスポーツ・エコシステムづくりへの挑戦
(自治体・企業・学校等が参加した競技活性化
競技場・指導人材育成拠点の整備・誘致
インフラ・地域資源と組み合わせたeスポーツツーリズム)



全国初，自治体公認Vtuber 茨ひより

<https://www.youtube.com/user/ibarak>
https://twitter.com/ibakira_Vtuber

成長する世界市場との融合・取り込み

4. 新たな成長産業を支える基盤の整備

- 産業技術イノベーションセンターはこれまで、主に技術面から企業活動を支援。
- 新ビジネスの創出・展開まで支援できるよう、関係機関との連携のもと、センターのハブ機能を強化。また、センターの強みを意欲ある企業や新たな成長分野に集中。

イノベーションセンターの支援実績

世界初のフィルム融着法（ホンダ車ドアハンドルに採用）

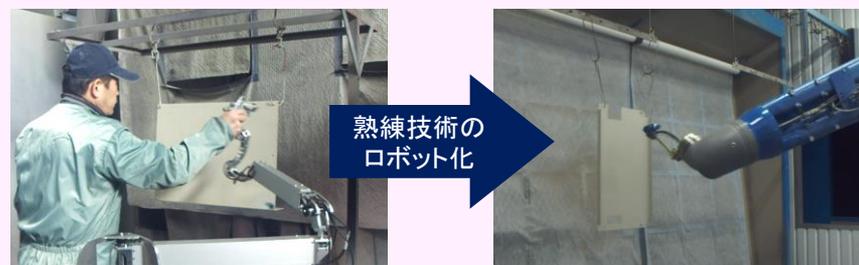
(株)宏機製作所（守谷市，プラスチック成形業）



- ◆自動車外装スペックを満たすフィルム融着法を開発し、環境負荷を低減
- ◆金属調の意匠性を損なうことなく、タッチ式のドアロックシステムを実現

日本初のIoT活用による工業塗装コンサル業

(株)ヒバラコーポレーション（東海村，工業塗装業）



- ◆40年にわたる塗装ノウハウをデータ化し、遠隔ロボットシステムを実現
- ◆東南アジア等の海外向けに、ロボット塗装サービスを展開

さらなるイノベーションの基盤となるセンターへ

ハブ機能の強化

- ◆「IT・AI等協創スペース」の新設
(産学官集いの場，データ利用環境の整備)
- ◆統括プロデューサーの配置
(案件全体のポートフォリオ監修，個別の方向付け)
- ◆アイデア・ビジネスプランづくりのノウハウ提供
- ◆メンターによるプランづくりの伴走と案件の絞り込み

- ◆センターの経営資源の集中
・技術的強みを有する分野
(材料開発・分析，センシング・制御)
- ・有望分野 (AI・ロボット，宇宙)

- ◆センター設備の開放・民間の活用促進
- ◆他機関とも連携したチャレンジ促進
(アイデアづくり，共同受注体の構築)

地域中核企業

イノベーションの創出

開発・提案型企業

下請けからの脱却

下請型企業